

令和5年度 科学研究費助成事業 実施研究課題一覧

No	種目	氏名	職	新規 継続	研究課題
1	基盤研究(A)	征矢 英昭	教授	継続	運動が海馬機能を増強するメカニズムの統合的解明：動物からヒトへの橋渡し研究
2	基盤研究(A)	西保 岳	教授	継続	次世代熱中症対策研究：ヒト特有の換気亢進の意義解明と新予防法開発
3	基盤研究(B)	高木 英樹	教授	継続	水泳水中運動における新たな流体力学的解析法の開発とメカニズムの解明
4	基盤研究(B)	小池 閑也	教授	継続	両手操作型用具を介する跳・投・打動作の動力学的貢献分析によるコツの抽出と検証
5	基盤研究(B)	酒井 利信	教授	継続	日欧対話による国際的「生涯武道論」の構築と指導者養成プログラムの開発
6	基盤研究(B)	小野 誠司	准教授	継続	アスリートにおける「能動視覚」の機構解明とバイオマーカーの開発
7	基盤研究(B)	松井 崇	助教	継続	運動が引き出す脳グリコーゲン超回復の神経-グリア連関機構とその意義
8	基盤研究(B)	佐藤 貴弘	教授	継続	体育および保健における外国人児童生徒等のインクルーシブ教育の実現に向けたPD
9	基盤研究(B)	平田 浩祐	助教	継続	高齢者の柔軟性改善策の確立に向けた基盤創成：軟組織の硬さに着目して
10	基盤研究(B)	高橋 英幸	教授	新規	筋・腱の形態及び質的特性の観点からの下肢スポーツ障害の発症機序解明と予防策立案
11	基盤研究(B)	中田 由夫	准教授	新規	働く世代の身体活動量を促進する低コストで多要素の介入プログラムの効果検証
12	基盤研究(B)	武政 徹	教授	新規	エクサカインがもたらす個体機能改善メカニズムの解明とその応用
13	基盤研究(B)	坂入 洋右	教授	新規	「個人別知」に基づく新たなスポーツ実践科学と指導システムの構築
14	基盤研究(B)	下山 寛之	助教	新規	若年期ライフステージのエネルギー代謝適応と生殖機能、免疫機能との関連性の解明
15	基盤研究(C)	鍋倉 賢治	教授	継続	マラソントレーニングにおける「高強度+持続走(ガチユル走)トレーニング」の効果
16	基盤研究(C)	深澤 浩洋	教授	継続	シティズンシップ教育を担う体育の原理の探究
17	基盤研究(C)	木内 敦詞	教授	継続	大学生アスリートのキャリア成熟に影響を及ぼす要因の抽出
18	基盤研究(C)	渡邊 昭裕	教授	継続	自然体験療法における発達障害児の社会性機能の獲得が自己形成に及ぼす影響の検討
19	基盤研究(C)	坂本 仁	助教	継続	「ウィルダネス」環境下における野外教育プログラムが体験者の自我再構築に及ぼす影響
20	基盤研究(C)	田中 喜代次	名誉教授	継続	中年肥満者への減量介入が20年後のフレイル予防にもたらす効果
21	基盤研究(C)	榎本 靖士	准教授	継続	慣性センサーとAIを用いたランニングフォームの評価、診断方法の開発
22	基盤研究(C)	仲澤 眞	准教授	継続	プロスポーツ経営におけるファン・コミュニティ育成支援の効果と課題
23	基盤研究(C)	岡本 正洋	助教	継続	運動で高まるストレス耐性の神経機構解明：交差耐性仮説の検証
24	基盤研究(C)	林田 敏裕	特任助教	継続	運動部活動改革の実現要因に関する実証的研究-運動部活動の地域移行に着目して-
25	基盤研究(C)	大友 あかね	特任助教	継続	発達障害児の社会性を育む短期通年型自然体験プログラムの構築：関係発達の視点から
26	基盤研究(C)	大石 純子	准教授	継続	武道思想の近代化に「女性」が及ぼしてきた影響の解明に関する歴史研究
27	基盤研究(C)	柴田 愛	准教授	継続	激増するリモートワーカーの座りすぎによる健康被害を回避するための戦略開発
28	基盤研究(C)	澤江 幸則	准教授	継続	日本版インクルージョン・スペクトラム・モデル(JAIM)の開発
29	基盤研究(C)	嶋崎 達也	助教	継続	ラグビー選手のコンディショニング-先進的センシング技術を活用した心身連関の解明-
30	基盤研究(C)	福田 崇	准教授	継続	頸部筋機能がアメリカンフットボールにおける衝突時の頭部作用に与える影響
31	基盤研究(C)	片岡 千恵	助教	継続	ソーシャルインクルージョンの考え方を重視した性に関する指導の実証的研究
32	基盤研究(C)	清水 諭	教授	継続	スポーツイベント開催の意義に関する研究
33	基盤研究(C)	河合 季信	准教授	継続	ショートトラックスピードスケートにおける失格発生メカニズムの解明
34	基盤研究(C)	中村 剛	教授	継続	体育・スポーツ指導者に求められる処方能力の解明と養成方法の構築
35	基盤研究(C)	本谷 聡	講師	継続	高等学校の体づくり運動における生徒の主体的・対話的活動を促す運動プログラム開発
36	基盤研究(C)	グレニエ フランソワ	研究員	継続	identifying and strenghtening the neural circuits of positive motivation
37	基盤研究(C)	齊藤 まゆみ	教授	新規	デジタルビックがインクルーシブ社会の創造に与える影響
38	基盤研究(C)	工藤 重忠	教授	新規	水泳運動中の人体に生じる抵抗力の増大メカニズムの解明と数値流体力学への応用
39	基盤研究(C)	宮崎 明世	准教授	新規	学校教育における東京2020大会の“Post Games Legacy”
40	基盤研究(C)	水上 勝義	教授	新規	フレイルの発生、進行、改善に対するポリファーマシーと慎重投与薬処方への影響
41	基盤研究(C)	木塚 朝博	教授	新規	マルチモーダル感覚刺激を用いた全身反応機能への拡張効果の検証
42	基盤研究(C)	仙石 泰雄	准教授	新規	高強度泳中の Swimming Economy と泳パフォーマンスの関係-横断的および縦断的分析-
43	基盤研究(C)	渡部 厚一	教授	新規	肥満児の呼吸は運動嫌いと関連するか？
44	基盤研究(C)	野津 有司	名誉教授	新規	健康行動の実現因子となる「技能」の体系化と保健授業モデルの開発
45	基盤研究(C)	前村 公彦	准教授	新規	スプリンターにおける効率の良い走りの究明~スプリントエコノミーの定量化を目指し~
46	基盤研究(C)	斎藤 卓	准教授	新規	平均台における「つまずき」をなくすための運動アナログの開発と体系化
47	基盤研究(C)	谷川 聡	准教授	新規	フィジカルデータベース開発と実践を通じたコーチングシステムの構築
48	基盤研究(C)	田邊 解	准教授	新規	女子中高生サッカー選手に対し健康サポートを行うための除脂肪量基準の検討
49	基盤研究(C)	岡部 雅大	助教	新規	透過型ヘッドマウントディスプレイによる視覚情報提示が素早く正確な運動に与える影響
50	基盤研究(C)	齋藤 健司	教授	新規	フランスにおけるオリンピック腐敗防止法に関する研究
51	基盤研究(C)	古川 拓生	准教授	新規	慢性疲労及びスポーツ脳振盪の高精度検出を実現するコンディション評価システムの開発
52	基盤研究(C)	成瀬 和弥	助教	新規	生涯スポーツ政策の実像と効果の解明
53	基盤研究(C)	會田 宏	教授	新規	卓越した車いすパラアスリートが獲得した技術・戦術に関する実践知の解明
54	基盤研究(C)	洪 性賛	研究員	新規	スポーツ用具が競技パフォーマンスに及ぼす流体力学的メカニズム解明
55	挑戦的研究(萌芽)	佐藤 貴弘	教授	継続	性に関する指導のピリフに焦点を当てた教師教育オンラインプログラムの開発
56	挑戦的研究(萌芽)	坂入 洋右	教授	継続	心身のコンディションの個別最適化を可能にするセルフメイド型ケアシステムの開発
57	挑戦的研究(萌芽)	高木 英樹	教授	継続	先端のヒューマンセンシング・フィードバック技術を用いた新たな水泳指導法の開発
58	挑戦的研究(萌芽)	高橋 英幸	教授	継続	筋・腱弾性を指標としたタレント発掘基準の策定：新規ミオトノメーターの有用性の確立
59	挑戦的研究(開拓)	松井 崇	助教	継続	進化運動生理学の創出：ロコモーションの収斂進化に基づくトレーニング・運動処方革新
60	挑戦的研究(開拓)	征矢 英昭	教授	新規	持久力を高める次世代栄養戦略
61	若手研究	田 暁潔	准教授	継続	変容する牧畜民マサイの「野生動物観」とその生成：子どもと若者の日常経験に着目して
62	若手研究	辻 大士	助教	継続	高齢者の「みる」「ささえる」スポーツの普及促進を目指す大規模縦断研究
63	若手研究	松尾 博一	助教	継続	地方創生に資する参加型スポーツイベントの社会効果発生機序
64	若手研究	佐渡 夏紀	助教	継続	力学的な動かしやすさに対する人間の適応をアスリートの身体から探る
65	若手研究	山崎 雄大	学振特別研究員	継続	慢性ストレスおよび抑うつ状態は運動時ヒト海馬活動のパラツキを生むか？
66	若手研究	Kim SatbyulEstella	助教	継続	A Nationwide Health Risk Assessment of PM _{2.5} Exposure by Examining the Regional Concentrations-Response Relations in a Population-Based Epidemiological Study in Japan
67	若手研究	土橋 祥平	助教	継続	成長期の運動不足は認知症発症リスクを高めるか？
68	若手研究	増地 克之	准教授	継続	女子柔道選手の競技力向上を担うトレーニング法に関する研究
69	若手研究	奈良 隆章	助教	継続	ADDIE モデルによるライフスキル獲得を促す大学体育授業の開発

No	種目	氏名	職	新規	研究課題
				継続	
70	若手研究	小崎 恵生	助教	継続	運動誘発性の心腎連関とその病態生理学的機序の解明
71	若手研究	中山 紗織	助教	継続	ゴール型球技の小学生年代における「個の育成」に関する研究
72	若手研究	永田 真一	助教	継続	精神障がいのある人の社会参加を高める余暇活動を通じた介入方法の効果検証
73	若手研究	金 多允	特任助教	継続	内反膝における腸脛靭帯炎の発生メカニズムの究明
74	若手研究	下竹 亮志	助教	継続	日本社会における根性論の系譜学的研究：スポーツ・学術・経済の諸言説に着目して
75	若手研究	尹 之恩	助教	継続	団塊世代を認知症から救う認知機能低下の変曲点の探索
76	若手研究	新竹 優子	助教	新規	日本女子体操競技における段違い平行棒の国際競技力向上に向けた強化プログラムの開発
77	若手研究	門間 貴史	助教	新規	客観的指標に基づく学生アスリートの仮眠に関する研究：効果的仮眠戦略の提案に向けて
78	若手研究	高橋 佳那子	研究員	新規	中強度運動時のストレス反応を制御するノルアドレナリン神経-視床下部機構の解明
79	若手研究	TORMA FERENC, GERGELY	助教	新規	Combined mild intensity exercise and dietary astaxanthin effects on memory function in Alzheimer's mouse model: the role of leptin signaling in adult hippocampal neurogenesis and neuroinflammation
80	若手研究	坂本 拓弥	助教	新規	デジタル時代の児童生徒とのかかわりを担う体育教師の身体的能力に関する現象学的探究
81	若手研究	加治木 政伸	研究員	新規	TRPV3 チャンネルに着目した新たな熱中症予防策の考案
82	若手研究	大林 太朗	助教	新規	明治・大正期の日本における陸上競技の体力・技術トレーニングに関する歴史的研究
83	若手研究	岡本 るみ子	特任助教	新規	高齢者の整容に着目したフレイル予防のための顔面筋機能評価法の開発
84	研究活動スタート支援	加治木 政伸	研究員	継続	ヒトの熱放散反応に対する TRPV3 チャンネルの役割検討-熱中症予防策の確立に向けて-
85	研究活動スタート支援	船橋 大介	研究員	継続	一過性運動後の身体活動の減少を抑える運動法の開発：断続的な運動形態に着目して
86	研究活動スタート支援	広野 泰子	研究員	継続	進行方向の変更を伴う曲走路をヒトが速く走るための動作の解明
87	研究活動スタート支援	吉村 悠成	特任助教	新規	3次元空間における実世界上および網膜上の視標の動きが速度知覚に与える影響の解明
88	研究活動スタート支援	田川 要	研究員	新規	熱中症予防に向けたヒト熱放散反応に対する TRPV1 チャンネルの役割解明
89	研究活動スタート支援	永田 康喜	研究員	新規	認知症予防に最適な運動の種類と解明とその普及戦略の検討
90	海外連携研究	下山 寛之	助教	新規	女性アスリートにおける月経周期による水分代謝調節機能の解明 英文
91	特別研究員奨励費	近藤 衣美	PD	継続	ケトン食及び間欠的絶食を応用したアスリートの新規減量方法の確立
92	特別研究員奨励費	山崎 雄大	PD	継続	3つの脳相互作用から有酸素性運動の効果を紐解く
93	特別研究員奨励費	田 暁潔	准教授	継続	社会化プロセスとしての子どもの身体発達：学際的なフィールド調査に基づいて
94	特別研究員奨励費	秦 俊陽	DC1	継続	ビタミン B1 誘導体による活動意欲促進の神経基盤：行動神経科学的検討
95	特別研究員奨励費	内沢 彰子	PD	継続	女性アスリートのエネルギー代謝適応における生理機能の解明
96	特別研究員奨励費	浅野 優次郎	DC1	新規	高齢者における Phase Angle の健康予測指標の可能性および向上方法の検討
97	特別研究員奨励費	谷村 陸	DC1	新規	加齢骨格筋における収縮性マイオカイン分泌応答の基礎的検討と分泌阻害要因の解明
98	特別研究員奨励費	上道 和毅	DC2	新規	骨格筋肥大と mTORC1 複合体活性に着目したミトコンドリア恒常性維持機構の解明
99	特別研究員奨励費	片桐 陽	DC2	新規	暑熱下運動時の体温上昇に伴う過換気反応に関する研究-暑熱対策の確立に向けて-
100	特別研究員奨励費	李 東旻	DC2	新規	認知機能を促進させる軽負荷短時間効率的運動プログラムの開発：低酸素暴露を活用して